

質問4. 所属する学会について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	日本眼科学会、日本緑内障学会
※	極限生物学会酵素工学研究会
※	日本進化学会

質問5-2. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
※	Mobile DNA (トランスポゾン、水平伝達遺伝因子、Virome、Plasmidome等)など、欧米でのプレゼンスに比較して、少ないとの印象を持つ。
※	一部偏っているように思えた。しかしそれ故の面白さがあったように思える。

質問5-6. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	聞いてみたいセッションが重なる事が多いので、発表内容の情報を公開して欲しい。
※	会場が一部離れたところにあり移動が難しかったため聞きたい演題が聞けないときがあった。

質問6. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	聞いてみたいセッションが重なる事が多いので、発表内容の情報を公開して欲しい。
※	会場が一部離れたところにあり移動が難しかったため聞きたい演題が聞けないときがあった。

質問7. ポスターディスカッサー制について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	久しぶりの参加でディスカッサー制をよく理解しておらず、突然ディスカッサーが尋ねてきたので最初ディスカッサーの先生かどうかわからなかった。専門分野の先生ではなかったため、最初の背景の説明だけで終わってしまった。
※	説明を聞いている途中で、ディスカッサーが「はい、最初から話して。2minね」と割り込み、挙句、質問すらしらないパターンが何件か目についた。盛り上がっていたのに、ディスカッサーのために時間が勿体ないことになった。
※	ディスカッサーがあまり機能していなかったように感じた。誰がいつディスカッサー主導の発表を行うのか、発表者以外にはあまり分からなかったようで、終始活発に議論が行われており、ディスカッサーの存在は必ずしも必要でない印象を受けた。実際に、自分も聴きに行きたい内容があっても、ディスカッサー主導の発表中に人集りの向こうから小さな声を拾うことができず、そのまま質疑が集中してしまったので、詳しい話を伺うことは断念した。
※	ディスカッサーの力量に大いに依存するので、人材不足では？
※	海外の学会であまり見ない制度だなと思いました。ディスカッサーのポジションの方はアワードなどの選出にかかわる感じでよいのではないかと思います。

質問8. 一般演題全般について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	個人的に昼のポスターセッションの時間振りは良かったと思います。

質問9. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて(※) <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	僻地で開催しているのに、夜の終了時間が遅すぎる。
※	自分の教養、勉強不足も一因ではありますが、やはり異分野の内容を聴講しに行こうと思うと、英単語を知らないために発表から置き去りになってしまう傾向がありました。1日目の午後と2日目のみの参加だったため、2日目に聴きに行った内容を理解しきれなかったことが少し心残りでした。
※	大分流ちょうな英語を扱う日本人が増え、日本人以外の人種の方々が多くなった。英語の方がより単刀直入なやりとりが多く、本質に入りやすいとの印象を受けた。今後、要旨は全部英文とし、発表も出来るだけ英語に統一することで、本邦分子生物学のレベルを向上できるのでは無いかと思う。残念ながら、分子生物学は輸入学問なのだから。
※	特に意見はありません。

質問10. 年会の特別企画について、良かったと思うものにチェックしてください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	参加してないです。
※	高校生発表の際の音響が良くなかったので、聞きやすい環境で行ってほしい。

質問11. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナーについて <複数回答可> (要望・その他)

回答者 番号	要望・その他記述
※	企業: 例年、質問に答えられる人がほとんど来ないため、名刺を置いて来るだけになってしまう。だったら、最初からメールで済むので、企業展示には足が向かない。
※	一部グラビアアイドルがいたブースがあったと炎上しましたが、企業からすると管理することも難しく(会社からオファーされたコンパニオンなど) 他社ながら大変だなあと感じました。契約コンパニオンにSNSのポリシーなどあった方がいいのかなとも思いますが、普通の芸能関係者にも適応するのか? など課題はあるなあと感じます。明文化しないで運営する今の体制が最もいいのかもしれないです。
※	数が減っており、内容も大手で参加していないところもあり、不十分さを感じた。

質問12. ITシステム(WEBシステム・アプリ)についてお聞きします <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	マイスケジュールのに並ぶポスターは、何の順番？ マイスケジュールを参考にポスターを探すと、通り過ぎた番号が下から出てきたりして不便。ポスター番号順に並べるか、好みのソートできるようにしてほしい。(機能があるならば、分かりやすくしてほしい)
※	演題ごとに、スケジュール登録した人の人数が判るのが有り難かった。人気の講演であることが判れば、少し早めに移動するなどの動きが取れるので良い。
※	iPadでの使用が役に立ったと思います。が、ノート機能など使いにくい機能もありました。

質問13. ITシステム(WEBシステムまたはアプリ)・年会プログラム集(冊子版)・ポケット判プログラム(会場受付等に置いていたミニサイズの折り畳んだ紙製のもの)の使用状況について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	例年ポケット判プログラムは便利だと思っていたが、今回は配布場所を見つけられなかった。

質問14. 本年会の開催形式(単独開催・他学会協賛形式による連携※)について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	いつも楽しみにしています。

質問15-3. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (協賛形式の連携が可能な学会)

回答者 番号	協賛形式の連携が可能な学会記述
※	エピジェネティクス研究会、ミトコンドリア学会、プロテオーム学会、免疫学会JHUGO,JHUPO

質問15-6. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (合同開催が可能な学会)

回答者 番号	合同開催が可能な学会記述
※	農芸化学会、生物物理学会、生理学会、遺伝学会

質問15-8. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	合同開催では、より広い視野でのoverviewが獲得できるが、シンポジウムやセッションの同時並行が多くなり、個々人にとってのcoveringが悪くなる傾向があり、formatとしては、いたしゆかしである。他方、時価の節減と経費の節約のメリットは、大きい。

質問16. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください

回答者 番号	意見記述
※	新しい解析方法や機器を発表するワークショップがあっても良いと思った。ポスター会場だとたくさんの列が出来て、待てるだけで大変なところもあった。ディスカッサー制も担当となった先生がたも大変かと思うので、希望者のところには行く形式でも良いと思いました。
※	大学院を修了して研究からも離れ、一般市民のつもりで参加しました。自分の所属記入などにやや難しさを感じましたが、研究に夢中になっていた頃の熱や面白さを思い出すことができました。生命科学の最先端で、分子生物学的にどのようなことが起きているのか？大いに情報を頂きました。いつか企業ブースで紹介されたり発表内容のデータ取得に使って頂けたりする製品の開発に携わる夢を追いながら、来年も勉強しに参加したいと考えています。
※	かつて福岡ドームでポスターをやった時はもう参加出来ないと思ったが、今回のスケールはやや大きいもののaccessibleであった。他方、生化学会や免疫学会など顕著なスケールダウンになっているのをみるに付け、日本の科学の衰退を感じる。Nature誌Editorialで何回もとりあげられているが 先進諸国で唯一科学研究予算が国家規模で縮小しているのが、日本の現状である。優れた人材は、研究職を敬遠し、かつて海外で活躍し帰国した人達の多くも、行政と学閥の支配状況にあきれて、多数外国に戻って行った(定年者排除の我が国独特のシステムもあるが)。将来に希望の持てない現状に対して、関連学会の中で、相対的にスケールメリットを持っている本学会に、リーダーシップを期待したい。
※	地方開催が助かるなあとと思います。横浜は微妙。
※	ポスターを時間までに掲示していない発表がかなりあった。毎年のことだが何とかしてほしい。